



えがおがいちばん!!



なかがわりんか
中川凜香ちゃん(6歳)・幸哉くん(9か月)

『とても仲の良い姉弟です。元気で優しい子に育ってね。』(西ヶ迫)



むらた かいと
村田 海飛くん(5歳)

『かなりの暴れん坊で毎日大変!明るく元気に育ってね。』(彼岸田)

市政への提言

どうなってるの?



質問

「子どもの読書について」

私には小学5年生になる孫がいますが、学校から帰るとゲームをしたりマンガを読む光景はよく見かけますが、読書をする姿は見かけたことがありません。

最近、子どもの読書離れや活字離れが社会問題になっているようですが、正しい言葉づかいや豊かな表現能力を身につけるためにも、子どものころに少しでも多くの本に触れてもらいたいと願っています。今、学校ではどのような読書活動や指導が行われているのか、お伺いしたいのです。(59歳, 女性)

おこたえします

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。学校では、国語科を中心とした教科指導を通じての読書指導や学校図書館の充実に努めており、朝の読書活動の導入には市内の全小中学校が積極的に取り組んでいます。小学校では、一般市民の方が学習ボランティアとして「読み聞かせ」活動に従事されているところもあります。

しかし、読書習慣は、学校の努力だけで身に付くものではありません。平成13年12月に公布された「子ども読書活動の推進に関する法律」でも、保護者の積極的な役割を促しています。各家庭においても、この夏休み中に、保護者が子どもと一緒に図書館に行ってみたり、夏休みの課題図書と一緒に読んでみるなど、読書を通じて、子どもと行動を共にされてみてはいかがでしょうか。

(学校教育課 ☎82-1201)

人のうごき (7月1日現在)

世帯	27,304	世帯	(+ 3)
男女	68,019	人	(- 65)
男	32,115	人	(- 41)
女	35,904	人	(- 24)

※()内は前月との比較



編集室のひとりごと

先日、そば好きな仲間と話が盛り上がり、あるところで「そば打ち体験」をしてきました。メンを切るところはテレビで見たことがあるけれど、実際に作るのは初めて。手取り足取り教えてもらいながら、格闘すること約1時間半。打ち上がったそばは、きしめんのように平べったく、プチプチとすぐに切れてしまうようなしるものでしたが、味は最高!実際に体験すると、「そばの実はいつ収穫されるの?」「そば打ち道具はどこで売っているの?」「そば打ちができたらうどんも打てるようになるの?」などなど、いろいろと興味が広がっていきました。

さて、来年は山口県で「国民文化祭」が開催されます。それに先駆け1年前イベントが県内各地で行われる中、市内でも8月20・21日に「ふれあいガラスフェスティバル」(裏ページ参照)、11月20日に「ジャズダンスフェスティバル」、12月18日に「少年少女合唱祭」が行われます。身近な場所でのイベント。この機会に、見て・聞いて・体感してみたいかがでしょうか。(ちよう)